

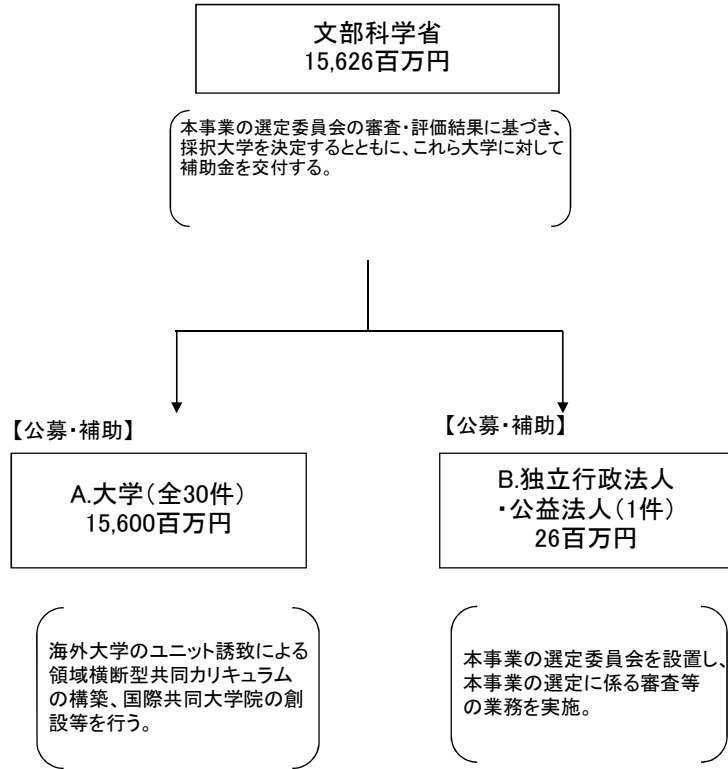
平成25年行政事業レビューシート

(文部科学省)

<b>事業名</b>	スーパーグローバル大学事業	<b>担当部局庁</b>	高等教育局	<b>作成責任者</b>				
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成26年度・未定	<b>担当課室</b>	高等教育企画課	高等教育企画課長	浅田 和伸			
<b>会計区分</b>	一般会計	<b>政策・施策名</b>	個性が輝く高等教育の振興 IV-1 大学などにおける教育研究の質の向上					
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	—	<b>関係する計画、 通知等</b>	「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)、「教育振興基本計画」(平成25年6月14日閣議決定)					
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	世界に冠たる教育研究レベルを誇るトップレベル大学をはじめ、高等教育の国際化を牽引し有為な人材を育成するグローバルトップ大学群を形成する国公立大学を、現行制度の枠にとらわれずに制度改革と組み合わせ、制度と予算を総動員して支援し、我が国大学の国際化とグローバル人材育成のための環境整備を推進。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	大学教育の国際標準化、研究力向上に繋がる教育力の最大化を図り、ランキングトップ100を目指す力のある大学(トップ大学型)や、教育環境の国際化推進など、これまでの実績を基に更に先導的試行に挑戦し、我が国社会のグローバル化を牽引する力のある大学(グローバル化牽引型)を支援。具体的には、トップ大学型については、海外大学のユニット誘致による領域横断型共同カリキュラムの構築、国際共同大学院の創設、優秀な教員や学生が集う環境整備、海外展開を、グローバル化牽引型については、海外大学との先駆的教育連携、大学教育のグローバル化モデルの構築、世界基準の教育展開等の取組を推進。【定額補助】							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算 の 状 況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算				15,626		
		補正予算						
		繰越し等						
	計					15,626		
	執行額							
執行率(%)								
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (32年度)	
	日本人留学生派遣数 (日本全体)		成果実績	人	—	—	—	120,000
			達成度	%	—	—	—	
	外国人留学生受入数 (日本全体)		成果実績	人	—	—	—	300,000
			達成度	%	—	—	—	
	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	採択大学が目標設定した外国語カスタンダードを上回る学生数		活動実績 (当初見込み)	人	—	—	—	※26年度活動見込は、採択校が決定次第判明。 ( )
	採択大学における英語による授業の科目数		活動実績 (当初見込み)	科目	—	—	—	※26年度活動見込は、採択校が決定次第判明。 ( )
					—	( — )	( — )	( )
<b>単位当たりコスト</b>	520(百万円/件)		算出根拠	単位当たりコスト =H26年度予定額(15,600百万円)÷取組件数(30件)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	国際化拠点整備事業費補助金	—	15,600百万円	「新しい日本のための優先課題推進枠」15,626百万円				
	審査・評価等経費	—	26百万円					
	計	—	15,626百万円					

事業所管部局による点検						
項目			評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	日本再興戦略(H25.6.14閣議決定)において「…必要な制度の見直しを行い、世界と競う「スーパーグローバル大学(仮称)」を創設する。今後10年間で世界大学ランキングトップ100に我が国の大学が10校以上入ることを目指す」、「人材・教育システムのグローバル化による世界トップレベル大学群の形成」を行うこととされており、制度改革と予算を総動員して我が国大学の国際化とグローバル人材育成の環境整備を推進する本事業への国民のニーズは高く、国において実施すべき優先度の高い事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—	採択大学の選定にあたっては、各界の有識者によるプログラム委員会及び専門の審査部会を設置し、本審査部会において、厳正に審査の上、採択プログラムを決定予定。また、補助金を交付する際は、事業経費の費目・用途の内容について確認する等、コスト削減に努めると共に、経費の執行に関しては、事業年度毎に各大学から提出される実績報告書等において支出先・用途を把握するなど、費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているかを確認することとしている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	採択大学の選定にあたっては、各界の有識者によるプログラム委員会及び専門の審査部会を設置し、本審査部会において、審査要項等に基づき、厳正に審査の上、国公私立大学の枠にとらわれずに採択プログラムを決定・補助するものであり、事業の効果的な実施が見込まれる。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>・経費の執行に関しては、事業年度毎に各大学から提出される実績報告書等において、支出先・用途を把握し、補助金の使用状況や事業目的との整合性について確認を行って事業の適正な実施に努める予定。</p> <p>・今後、本事業により、海外大学のユニット誘致による領域横断型共同カリキュラムの構築や、国際共同大学院の創設等による、我が国大学の国際化とグローバル人材育成のための環境整備が推進されることが期待される。</p>					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
本事業は、成果目標及び活動指標も立てられ、事業効果についても適切に検討されており、広く国民のニーズに応える事業であると考えられることなどから、当省の事業として実施することが適切かつ必要と認められる。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年	—	平成23年	—	平成24年	—	—

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記入したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位：百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.大学			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	スーパーグローバル大学事業(30件)	1,560			
計		1,560	計		0
B.独立行政法人・公益法人			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	審査・評価等経費(1件)	26			
計		26	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0